

新聞

NO SHIMBUN

nitashinano.com

11月5日土曜日
毎週土曜日発行
平成28年(2016年)

昭和48.8.24 第3種郵便物認可
発行所

北信濃新聞社

住所 飯山市南町24-1
TEL 62-2759
FAX 62-4564
発行人 仲條 橋一
購読料 毎月600円

秋の行楽は **レンタカー** がお得です！
ご予約は **ウイングレンタカー 飯山店 67-9044** まで
営業時間 9:00 ~ 18:00

車種 (すべてナビ&ETC付)	当日返却	1泊2日
タント・N-BOX・Nワゴン	4,860円	10,260円
フィット・パッソ・ヴィッツ	5,400円	11,880円
ハイエーススーパーGLディーゼルトーポ	15,120円	32,400円

登録有形文化財の価値ある飯山復活教会

いいやま広小路
再生イベント

信大教授が講演／ハロウィンパレードも



工夫を凝らしたハロウィンファッションで町をパレード

飯山市飯山広小路界隈のにぎわい創出、活性化と取り組む「広小路会議」(田中隆太会長)が主催する、ことしで3回目の「いいやま広小路『再生』イベント」は先月29日、飯山復活教会とその周辺を会場に行われた。

「住民参加のまちの再生」をテーマとする同イベント。ことしは花の植栽や清掃、イルミネーション装飾など教会の庭園整備と、信州大学工学部建築学科教授、土本俊和さんの「飯山復活教会の文化的価値」と題する講演が行われた。

飯山復活教会については飯山市は、昨年度土本教授に依頼して実施した、同教会の調査結果を踏まえて、文化庁の登録有形文化財指定を目指したい考えだ。

市ではまた、高橋まゆみ人形館、仲町、広小路界隈のにぎわい創出・活性化について「住民参加のまちの再生」「回遊性のあるまちづくり」も踏まえて、基本計画の策定を進める。飯山復活教会が登録有形文化財の指定を受け

られれば、まちづくりのシンボルともなる、景観重要建築物として位置付けたい意向だ。

飯山復活教会は、昭和7(1932)年に建てられた、単廊式の教会堂。県内東・北信での伝道活動や、聖堂

建設に中心的役割を担ったジョン・ゲージ・ウォーラーが建設に関わったと言われる。

土本教授は講演の中で、同教会は寺町飯山でのキリスト教文化の伝道を語るうえで、必要不可欠な存在である

こと、ウォーラー司祭の長野県における布教活動の貢献を示す、当時の姿を残す貴重な建物であることなどが登録有形文化財としての価値を有している。同日はイベント会場

一帯でハロウィン・ガーテンパーティー、仮装パレードも行われ、様々に仮装した小学生グループや親子連れなど約80人が、商店街に設けられたポイントめぐり、お菓子の振る舞いを受けた。